大東亜戦争

1941 年、日米衝突の回避のために、日米交渉が開始された。しかし、交渉は妥協点を得られないまま平行線を辿った。以後も交渉は続いたが、同年 11 月 26 日のハル=ノートは、日本に交渉の成功の可能性がないことを確信させ、12 月 1 日の御前会議で遂に対米開戦が決まった。そして 12 月 8 日、「大東亜戦争」が始まった。

○開戦回避の模索

●日米交渉の開始

<第2次近衛文麿内閣 | 1940年7月~1941年7月>

1940年の日独伊三国同盟調印は、アメリカの対日姿勢をより硬化させた。

- ⇒第2次(1) 内閣は、日米衝突の回避に、次の2策を講じた。
- ①1941年4~11月、日米交渉
 - …駐米大使**野村吉三郎**と米国務長官ハルとの間の協議で、

日米衝突の回避を目指す国交調整



- …日本とソ連が相互の中立友好と不可侵を約した条約
- …独・伊のほかに、ソ連を味方につけ、アメリカの対日態度の軟化に期待
- …また、南進政策の一層の推進のため、北方の安全を確保



1941年6月、ドイツが独ソ不可侵条約を破ってソ連に侵攻して、独ソ戦争が始り、(2)調印の狙いは外れた。

- →1941 年 7 月 2 日、天皇臨席の下の最高会議である御前会議が開かれ、 南進政策の継続と対ソ戦の準備(北進)が決定した。
- ⇒(1)内閣は、この決定の遂行と並行して日米交渉を図り、 対米強硬を主張する外相松岡洋右を除くためにいったん総辞職した。







図 1 野村吉三郎

図2 ハル



図3 日ソ中立条約調印 *左:スターリン/右:松岡洋右



図4 御前会議

●苛烈な対日経済封鎖

<第3次近衛文麿内閣 | 1941年7月~1941年10月>

総辞職後、第3次(5)_____内閣が、すぐに組織されなおした。

↓ 1941 年 7 月、日本軍の⁽⁶⁾ 進駐が実行された。
→米は、在米日本資産の凍結と⁽⁷⁾ の禁止を実行した。

- ⇒日本の石油備蓄は2年で尽きるため、開戦に消極的であった海軍内部でも、 即時開戦と南方の石油資源確保が主張され始めた。
- ◇在米日本資産の凍結…米国内にある日本人の土地・家屋・金銭などを管理

★米が、日本の南進阻止の意志を示すと、イギリス・オランダも同調した。⇒軍部は、4ヵ国の対日経済封鎖「(8)______」の圧迫を、戦争で跳ね返すしかないと主張した。

♦ (8) ···A=America、B=Britain、C=China、D=Dutch

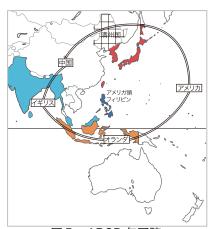


図5 ABCD 包囲陣

○対米戦の開戦

● 9月6日の御前会議決定

<第3次近衛文麿内閣 | 1941年7月~1941年10月>

1941年9月6日、天皇臨席の下の最高会議である御前会議が開かれた。

⇒帝国国策遂行要領が作成され、日米交渉の期限を10月上旬とすること、

交渉失敗時に対米 (およびイギリス・オランダ) 開戦に踏み切ることが決まった。

日米交渉は、米が日本軍の中国からの全面撤退などを要求したため、 妥協点を見い出せないまま 10 月半ばを迎えた。

⇒妥協を主張する近衛文麿首相と、開戦を主張する陸相東条英機が対立し、 1941 年 10 月、近衛内閣は総辞職した。



図6 東条英機

●交渉の決裂と開戦

<東条英機内閣 | 1941 年 10 月~1944 年7月>

内大臣木戸幸一は、9月6日の御前会議決定を白紙に戻すこと、

つまり日米交渉の継続を条件として、(9)を首相に推挙した。

- ⇒首相が陸相・内相を兼任する形で、(9)が内閣を組織した。
- ◇最後の元老である西園寺公望の死後、首相選定は木戸孝 允の孫の幸一を中心に、 首相経験者で構成される重臣会議の合議で決定



1941 年 11 月 26 日、米からの交渉文書(通称: ⁽¹⁰⁾______) が、日本に提示された。

- →(10) は、中国・仏印からの全面的無条件撤退、満州国・注 兆 銘 政権の否認など、 日本に満州事変以前の状態への復帰を要求する厳しい内容であった。
- ⇒(10) は、これまでの妥協案を全く認めず、日本に交渉失敗を確信させた。



図7 東条英機内閣



図8 マレー半島ト陸

1941年12月1日、天皇臨席の下の最高会議である御前会議が開かれ、日米交渉の失敗の判断と米・英への開戦が決まった。

→1941 年 12 月 8 日、日本陸軍が英領マレー半島に奇襲上陸し、

日本海軍がハワイの(11) を奇襲攻撃して、日本は米・英に宣戦布告した。

⇒日本は、日中戦争を含めた戦争の呼称を「⁽¹²⁾ Lと決めた。

◇(12) …欧米からのアジア解放と、アジア一体でのブロック経済を目指す戦争

…戦後、呼称を「(13) 」に変更



図9 真珠湾攻撃 *轟沈する戦艦アリゾナ

日本史上初めての「戦争」の使用―大東亜戦争

日本の敗戦後、GHQは「大東亜戦争」の呼称が軍事肯定に繋がるとして使用を禁じた。しかし、日本が「戦争」という呼称を公で用いたのは、実は「大東亜戦争」が初めてであった。当時の人々は意識して「戦争」を用い、また、先の戦争の肯定・否定は別として、先人たちは命を賭して「大東亜戦争」を戦った。歴史とは、当時の人々の考えを軽視すべきものではない。GHQによる禁止が失効した今、先の戦いを何と称するか。

